

内政・外交

- 3日、チセケディ大統領が、ムバラ将軍に替え、チウェウエ中將をコンゴ(民)国軍参謀長に任命。
- 3~4日、キンシャサで、国連気候変動枠組条約第27回締約国会合準備会合(PreCOP27)が開催された。本会合は、11月6~18日にエジプト(シャルム・エル・シェイク)で開催されるCOP27に先立ち、主要議題につき意見交換・認識共有を図るべく開催されたもので、50か国ほどが参加。
- 8~9日、サス・ンゲソ・コンゴ(共)大統領がキンシャサを訪問。チセケディ大統領とサス・ンゲソ大統領は、東部情勢の他、マイ=ンドンベ州の部族間衝突から逃れようとコンゴ(共)に逃れている避難民の問題等について協議を行った。
- 18~25日、チセケディ大統領が、英国、ガーナ及びタンザニアを訪問。英国では、バッキンガム宮殿でチャールズ3世国王と会談。ガーナでは、アクフォ=アド大統領と会談。タンザニアでは、サミア大統領と会談。
- 19日、国民議会がオケンデ運輸大臣に対する不信任案を棄却し、オケンデ運輸大臣は運輸大臣職に留まることとなった。
- 20日、北キブ州ルチュルでコンゴ(民)国軍とM23が衝突。
- 25日、キンシャサで第2回中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)臨時首脳会合が開催された。会議の最終コミュニケでは、チセケディ大統領がチャドの移行プロセスにおける調整役(ファシリテーター)に指名された。
- 26日、国連安保理で大湖地域に関するブリーフィングが行われた。
- 29日、コンゴ(民)政府は、M23によるコンゴ(民)東部2か所の占拠への対抗措置として、ヴィンセント・カレガ駐コンゴ(民)・ルワンダ大使の追放を決定。翌30日、ルワンダ政府はこの決定に対する遺憾の意を表明。

経済

- 10日、コンゴ(民)電力公社(SNEL)の総裁、副総裁らが交替。
- 27日、10月12日に解任されていたSNELのカヨンボ元総裁が横領等の容疑で逮捕。
- 28日、サマ・ルコンデ首相が、国民議会に2023年予算法案を提出。

(注) 本月報は、コンゴ(民)に関する各種報道等を元にとりまとめたものであり、当館がその内容の正確性や信憑性を保証するものではありません。また、日本政府やコンゴ(民)政府の公式見解と異なる場合があります。